ほぼ週刊コラム　Partnership論　その２０３

**シリーズ：『米国Partnership税制勉強会』**

**第二十七回勉強会（通年内容は**[**年表rev.9**](http://llc.a.la9.jp/Papers/evolution%20history/evolution%20history%20of%20US%20partnership%20taxation%20rev9.ppt)**参照方）の準備**

**personal freedom、identity、individuality**

20160902 rev.1 齋藤旬

 **IR4（第四次産業革命）の和訳作業ファイルrev18を**[作業ファイル](http://llc.a.la9.jp/Papers/IR4/The%20Fourth%20Industrial%20Revolution%20by%20Klaus%20Schwab%20revX.docx)**に**アップしておいた。

3.5 The Individual 88

**3.5.1 Identity, Morality and Ethics 89**

**3.5.2 Human Connection 人と人とのつながり 91**

**3.5.3 Managing Public and Private Information　公私情報の自己管理 93-95**

今週はこれらを和訳した。

**今週のpunch lineは、91頁のone paragraph:**

　AIと機械学習が持つ予測力に関連してもう一つ別の重要な問題が持ち上がる。即ち、もし私達の行動がどの様な状況でも予測可能となったならば、私達はいったいどれほどのpersonal freedomを持っていると言えるのだろうか。あるいは、どれほどのpersonal freedomを持って該予測から離れた行動をとっていると感じられるのだろうか。この様な予測を可能とする技術開発は、とどのつまり人類がrobotsとして行動する状況を生み出すのではないか。さらにもっと哲学的な問題につながる。即ち、この様なdigital ageにおいて、どうしたら私達は私達のindividualityを維持できるのか。どうしたら私達は私達のdiversity and democracy の源であるindividualityを維持できるのか。

･･･を選んだ。説明は不要だろう。じっくりと味わい、問題の深さに気づいていただきたい。

**ちまたでは、第四次産業革命を扱う本が幾つも出始めているが**、「軽率」のそしりを免れないと思う。

今週は以上。来週も請うご期待。というか、来週はいよいよ本書結論部The way forward（これからの道）に入る。更に深い内容に分け入っていく。私も心して和訳にあたる。請うご期待。